

湖南省庁舎建設及び周辺整備基本計画策定に関する 提言書

平成 29 年 8 月 10 日

湖南省長 谷畑 英吾 様

湖南省庁舎整備計画検討委員会
委員長 新川 達郎

平成 26 年度、湖南省行政改革外部評価委員会において、東西庁舎の機能の見直しについて議論を始め、平成 28 年度からは庁舎整備計画検討委員会を設置し、これまで 3 回にわたって、庁舎建設及び周辺整備に関する議論を重ねてきました。

検討委員会において、今後の市民生活を支える最も重要な施設となる庁舎機能のあり方、既存の行政施設との関係、整備手法や事業費の確保等、様々な観点から議論を重ねてきた結果を踏まえつつ、特に、以下の点について、基本設計・実施設計等のプロセスを最大限に活用し、丁寧に庁舎建設及び周辺整備を推進されるよう提言します。

1. 地震に代表される自然災害に加え、近年は、集中豪雨の頻発やそれに伴う都市型水害など、災害の形が多様化・複雑化している。こうした状況を踏まえながら、庁舎建設の基本理念にあるとおり、市民の安全・安心な暮らしを支える拠点として高度な耐震性能を備え、大規模災害時には救助等の指揮活動の拠点となる庁舎建設及び周辺整備を進めていくこと。
2. 新しい庁舎は、甲西図書館、保健センター、中央まちづくりセンター等を複合化し、多様な住民のまちづくり活動を支える拠点施設となることが期待されている。一方図書館においてはタウンミーティングでも現在の場所の方が良いといった意見もある。このため、市民に愛される施設となるよう、引き続き庁舎を利用する市民やまちづくり団体等の参画・対話のもとで庁舎建設及び周辺整備を進めていくこと。
3. 庁舎建設及び周辺整備に当たっては、多額の事業費が必要となることから、建設費が高騰する社会情勢等も踏まえながら、絶えず事業費の抑制に向けた検討を重ねることとし、特に図書館については基本設計、実施設計の段階においても複合機能としての集約化に検討を加え、効果的・効率的に庁舎建設及び周辺整備を進めていくこと。
4. これまで湖南省においては、東庁舎、西庁舎の 2 庁舎を拠点として住民生活を支える行政サービスを推進してきた経緯を踏まえ、庁舎建設及び周辺整備と並行して、今後、西庁舎及び周辺施設についても市民にとって最も良いあり方を引き続き検討していくこと。具体的には市民サービスの向上、行財政上の運営のさらなる効率化、有効性の向上など、より良いあり方を検討すること。

以 上